

教室細則（入会および年会費）

第 1 条（入会金及び年会費）

| | 基本料金 |
|-----|----------|
| 入会金 | 10,000 円 |
| 年会費 | 5,000 円 |

第 2 条（入会金の返金）

入会金は契約締結および履行の必要費であり一度納入した入会金は返還しない。

第 3 条（年会費の支払い）

年会費は、10 円未満の端数は切上げとして始期を当年度 4 月、終期を次年度 3 月として月割りで支払う。

第 4 条（年会費の算定）

年会費は、月割りとして利用月から算定する。

第 5 条（障害者受講生の適用）

障害者は、障害者手帳、医師等の診断書、その他公的な文書による証明にて障害者受講生の適用を受けることができる。

但し、当該クラブの代表が認めた場合はこの限りではない。

第 6 条（会員資格の喪失）

最後の利用日から 1 年以内に利用のない会員は会員資格を喪失する。

第 7 条（入会金及び年会費の改定）

入会金および年会費は税制改革、経済社会情勢の変化等により適宜変更することができる。

第 8 条（入会金及び年会費の支払い）

入会金および年会費は、振込人が支払手数料等を負担し指定の銀行口座に支払う。

第 9 条（免除）

当該クラブの代表が適当と認めた場合には入会金および年会費の一部または全部を免除することができる。

第 10 条（附則）

当該細則は 2017 年 4 月 1 日より施行する。

教室細則（レッスン料およびその他の費用）

第 1 条（レッスン料）

下記の料金には消費税が含まれておりません。

1. レッスン料金

レッスン料は月謝制として月の回数に応じてレッスン料金を乗じた料金が月謝となる。但し月謝は2ヶ月分を前納しなければならない。ビジター参加については都度レッスン料金を支払うものとする。

| | レッスン料金 |
|----------------------|---------|
| 東砂スポーツセンター競泳教室（K001） | 2,000 円 |
| スポーツ会館競泳教室（K003） | 2,000 円 |
| W競泳教室（K001+K003） | 1,750 円 |
| ビジター参加（非受講者）（B001） | 4,000 円 |

2. 体験レッスン料金

体験は申込日から30日以内で、かつ1回限りにおいて入会金および年会費が生じず受講することができる。この場合において会員規則、使用細則、その他の諸規定を厳守しなければならない。

| | 体験レッスン料金 |
|------------------|----------|
| 東砂スポーツセンター競泳教室体験 | 2,000 円 |
| スポーツ会館競泳教室体験 | 2,000 円 |

第 2 条（水泳用具等の購入）

教室受講に必要な水泳用具等を使用する場合には別途費用を負担しなければならない。但し同一の用具を持参する場合は購入する必要はない。

第 3 条（レッスン料の違約金）

レッスン料の返還は、第1条に定める金額に違約金30%を差引いて返還する。この場合において1円未満の端数が生じた場合は切捨てとする。

第 4 条（返還処理）

返還が生じた場合は、指定口座に支払手数料を差引いて返還を行う。
この場合において手渡し現金決済、現金書留には応じない。

第 5 条 (レッスン料の改定)

レッスン料は税制改革、経済社会情勢の変化等により適宜変更することができる。

第 6 条 (交通費及び施設利用料等)

指導員の交通費および施設利用料等はすべて第 1 条に定めるレッスン料に含む。

但し第 7 条に定める事項に該当する場合はこの限りではない。

第 7 条 (必要費及びその他の費用等)

次の各号の一つにでも該当するときは別に定めた必要費を第 1 条に定めるレッスン料の他に支払わなければならない。

1. 特別な練習をするために別に費用が生じた場合。
2. 特別な依頼により規定範囲外による出張費、交通費等の必要費の負担があった場合。
3. 特別な依頼により補助者、介助者の人数の増加があった場合。

第 8 条 (附則)

当該細則は 2017 年 4 月 1 日より施行する。

教室細則（スポーツ安全保険）

第 1 条（スポーツ安全保険）

| 被保険者区分 | 保険区分 | 年間保険料 |
|--------|------|---------|
| 中学生以下 | A1 | 1,000 円 |
| 高校生以上 | C | 2,000 円 |

第 2 条（加入義務）

すべての会員および会員以外で利用を認めた者は、当該クラブによるスポーツ安全保険に加入しなければならない。

第 3 条（保険期間）

毎年、4月1日より翌年3月31日までとする。

第 4 条（中途加入）

第3条に定める保険期間内の加入であっても第1条に定める保険料が生じる。

第 5 条（中途解約）

保険の中途解約による保険料、支払手数料の返還は生じない。

第 6 条（加入義務違反）

保険手続きにおいて申請手続きや保険料の支払いを拒んだり、虚偽の申告をする等した場合には除名処分とすることができる。

第 7 条（補償範囲）

公益財団法人スポーツ安全協会が定める補償の範囲内において補償がなされる。

第 8 条（附則）

当該細則は2017年4月1日より施行する。

教室使用細則

第 1 条 (趣旨)

スポーツ施設において水泳およびその他のスポーツ活動を通し健康の増進、保持に努め、会員の安全を確保する。

第 2 条 (会員規約及び諸規定の厳守)

会員規約および使用細則、その他の諸規定、施設利用規約、社会規範等を厳守しなければならない。

第 3 条 (指導員の指示)

主たる指導員の指示に従いレッスンを受講しなければならない。

第 4 条 (受講者以外の制限)

利用中は、受講者以外の者の立ち入り、レッスン参加を禁止する。
但し、主たる指導員または当該クラブの代表が認めた場合はこの限りではない。

第 5 条 (レッスン時間の範囲)

レッスン時間は、施設休憩時間を含み入場から退場までの時間とする。

第 6 条 (レッスン欠席)

レッスンを欠席する場合には、事前に主たる指導員に連絡をしなければならない。
但し、やむを得ない事情がある場合はこの限りではない。

第 7 条 (振替制度)

第 6 条によるレッスンを欠席した場合において、主たる指導員に事前に連絡のうえで別教室に振替をすることができる。
但し、教室休講日を除き欠席日から 30 日以内、または欠席を予定される日より 30 日前に振替受講をしなければならない。

第 8 条 (パーソナルレッスン受講)

教室受講とは別にパーソナルレッスンを受講することができる。この場合において別に定めるレッスン料を負担しなければならない。

第 9 条 (越権行為の禁止)

指導員または準ずるスタッフと交わした新たな契約行為は、当該クラブでは一切の責任を負わない。この場合において当該クラブに損害が発生した場合は損害賠償の請求をすることができる。

第 10 条 (休会)

会員は事情により当該クラブの代表に休会の申立てをおこなうことができる。
この場合において、会員資格の保持、年会費の免除を受けることができるが、休会期間は最大で 1 年以内とする。

第 1 1 条 (会員以外の制限)

会員以外の者が利用をする場合においても、会員規約、利用細則、その他の諸規定を厳守しなければならない。

第 1 2 条 (レッスン料等の支払い)

レッスン料、その他名目を問わず金銭の支払いは、原則指定口座に事前に支払わなければならない。但し、やむを得ない事情がある場合または当該クラブの代表が認めた場合はこの限りではない。

第 1 3 条 (障害の告知義務)

障害者の利用者で障害者レッスンに該当する者は、障害名 (病名)、内容、程度、病歴、服薬等の注意する事項をあらかじめ告知しなければならない。

第 1 4 条 (障害者のレッスンについて)

障害者レッスンを利用する者は、障害者手帳、その他の証明により、指導員を介助者等として同伴させ施設の優先利用をおこなう。

第 1 5 条 (附則)

当該細則は 2017 年 4 月 1 日より施行する。